



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月11日

上場会社名 株式会社 ABEJA 上場取引所 東
コード番号 5574 URL <https://www.abejainc.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 岡田 陽介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 英 一樹 TEL 03-6387-9222
四半期報告書提出予定日 2024年1月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の業績 (2023年9月1日～2023年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	653	—	56	—	56	—	47	—
2023年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	5.51	4.59
2023年8月期第1四半期	—	—

(注) 2023年8月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第1四半期の数値及び2024年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	4,000	3,613	90.2
2023年8月期	4,109	3,480	84.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 3,609百万円 2023年8月期 3,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の業績予想 (2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,470	25.0	450	11.7	447	17.7	388	△8.0	44.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期1Q	8,785,200株	2023年8月期	8,598,900株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	—株	2023年8月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期1Q	8,650,701株	2023年8月期1Q	—株

(注) 当社は、2023年8月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第1四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「ゆたかな世界を、実装する」を企業理念に掲げております。この企業理念のもと、テクノロジーの産業界への社会実装を支援することにより、産業横断的なイノベーションを創出し、社会に貢献し続けることを目指し、企業のデジタルトランスフォーメーション推進を総合的に支援しております。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から社会活動の正常化が進み、国内景気は回復基調で推移しています。一方でエネルギー価格や物価の上昇、金融資本市場の変動、ウクライナやイスラエル情勢の不透明さ等の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の事業が属するデジタルトランスフォーメーション市場におきましては、ビジネスプロセスのデジタル化や既存のビジネスモデルを変える新たな試み、大規模言語モデル (Large Language Model : LLM) といった生成AIへの関心・利活用など、デジタルトランスフォーメーションの取組みは広がりをみせ、企業のIT投資への意欲は引き続き強いものとなっております。今後は少子高齢化に伴う労働生産人口の減少、働き方改革を背景に、多くの企業においてデジタルトランスフォーメーションを推進する動きが一層活発化するものと捉えております。

このような環境の中、当社はABEJA Platformを基盤として、企業のデジタルトランスフォーメーション推進を支援することに取組んでまいりました。

当第1四半期会計期間の売上高は想定を若干下回ったものの、プロジェクト開始の遅れが主な要因で、こちらは第2四半期以降に売上計上の予定となります。売上総利益率は60%超と想定を上回る良好な水準を維持し、営業利益は四半期単位での黒字を継続しております。また、当第1四半期のリード数は前年同期比1.5倍水準にあり、引き続き事業環境、引き合いは良好です。現状、コストコントロールはできているため、第2四半期以降はリード数の増加と従業員数増によるリソース拡大を売上伸長に繋げてまいります。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高653,370千円、営業利益56,754千円、経常利益56,916千円、四半期純利益47,693千円となりました。

当社はデジタルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

なお、売上高については、「トランスフォーメーション領域」と「オペレーション領域」に分類しており、2023年8月期及び2024年8月期第1四半期累計期間の実績は次のとおりとなります。

(単位：千円)

領域の名称	2024年8月期 第1四半期累計期間 (実績)		2023年8月期 (実績)	
		構成割合		構成割合
トランスフォーメーション領域	481,932	73.8%	2,268,613	81.7%
オペレーション領域	171,437	26.2%	506,855	18.3%
合計	653,370	100.0%	2,775,469	100.0%

トランスフォーメーション領域は、企業のデジタルトランスフォーメーションニーズに対応したプロフェッショナルサービスを、ABEJA Platformに導入し、提供しております。このため、主な収入は顧客企業のデジタルトランスフォーメーション推進のための各種支援に伴う収入となります。なお、デジタルトランスフォーメーションは段階的に進めていくため、多くはフロー型 (都度契約) の契約となりますが、一方で長期間にわたる計画的なプロセスとなるため、継続顧客の割合は高くなっております。

・継続顧客からの売上比率 (注) 91.8% (2023年8月期)

(注) 継続顧客からの売上比率は、既存顧客 (前事業年度に売上が発生した顧客) の当事業年度の売上高/当事業年度の売上高

オペレーション領域は、ABEJA Platform上に構築した様々なシステムを汎用的な仕組み・サービスとして提供しております。このため、主な収入は顧客企業に提供する汎用的な仕組み・サービスに応じたストック型の継続収入となります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ108,980千円減少し、4,000,510千円となりました。これは主に消費税及び法人税等の納付に伴い現金及び預金が191,057千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ241,753千円減少し、386,853千円となりました。これは主に法人税等の納付により未払法人税等が103,214千円減少したこと、消費税の納付により未払消費税等が60,376千円減少したこと及び賞与の支給に伴い賞与引当金が67,367千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ132,772千円増加し、3,613,656千円となりました。これは新株予約権行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ42,539千円増加したこと及び四半期純利益の計上により利益剰余金が47,693千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年10月12日に開示いたしました「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想は発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,540,535	3,349,477
売掛金及び契約資産	357,281	420,092
仕掛品	5,751	10,566
貯蔵品	4,775	2,634
その他	63,829	75,532
貸倒引当金	△738	△738
流動資産合計	3,971,434	3,857,564
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	640	4,158
減価償却累計額	△106	△561
工具、器具及び備品 (純額)	533	3,596
有形固定資産合計	533	3,596
無形固定資産		
その他	—	1,826
無形固定資産合計	—	1,826
投資その他の資産		
繰延税金資産	130,495	130,495
その他	7,027	7,027
投資その他の資産合計	137,522	137,522
固定資産合計	138,056	142,945
資産合計	4,109,491	4,000,510
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	821
未払金	114,227	118,647
未払法人税等	120,654	17,440
賞与引当金	124,139	56,771
1年内返済予定の長期借入金	80,000	80,000
その他	189,586	113,173
流動負債合計	628,607	386,853
負債合計	628,607	386,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	732,787	775,327
資本剰余金	2,516,365	2,558,904
利益剰余金	227,232	274,926
株主資本合計	3,476,385	3,609,158
新株予約権	4,498	4,498
純資産合計	3,480,883	3,613,656
負債純資産合計	4,109,491	4,000,510

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	653,370
売上原価	233,833
売上総利益	419,536
販売費及び一般管理費	362,782
営業利益	56,754
営業外収益	
受取手数料	381
その他	251
営業外収益合計	632
営業外費用	
支払利息	79
株式交付費	366
その他	23
営業外費用合計	469
経常利益	56,916
税引前四半期純利益	56,916
法人税等	9,222
四半期純利益	47,693

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。